

2015年7月17日

オーストラリアにおける太陽光利用型植物工場の竣工について

三菱樹脂株式会社

三菱樹脂株式会社(本社:東京都千代田区 社長:姥貝 卓美)は、オーストラリア国内に現地法人「KAITEKI Fresh Australia Pty Ltd」を昨年7月に設立し、同国において、植物工場で栽培した野菜を、生産から販売まで行う事業を行うにあたり、同国ビクトリア州に約 5,000 m²の太陽光利用型植物工場の建設を進めてきましたが、このたび建設が完了し、7月15日に竣工式を実施致しましたのでお知らせいたします。現在、植物工場産野菜の試験販売を進めており、今秋から同国市場に向けて販売を開始する予定です。

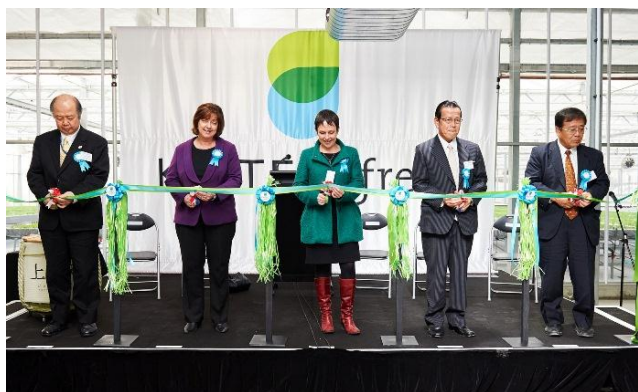
オーストラリアは、国土の大半が砂漠に覆われ、度重なる干ばつと深刻な水不足により農業生産に大きな課題を抱えています。そのような状況の中、2011年3月に三菱ケミカルホールディングスの研究機関である地球快適化インスティテュートと同国ビクトリア州政府が節水型農業研究に関する覚書を締結し、実証実験を進めてきました。その後、現地の高級スーパーで販売されている露地有機栽培等の高品質野菜と同等の評価を得られたことから事業展開が可能と判断し、昨年7月に約10億円を投じて100%出資子会社の「KAITEKI Fresh Australia Pty Ltd」を設立し、本格展開の準備を進めてまいりました。

この植物工場は三菱樹脂グループの三菱樹脂アグリドリーム社の閉鎖型苗栽培システム「苗テラス®」^{※1}および葉菜類養液栽培システム「ナッパランド®」^{※2}を組み合わせたもので、節水かつ安定的に、より安全・安心を求めるお客様に無農薬薬物野菜を周年供給することができます。現在実施中の試験販売においては、市場調査に基づき、オーストラリアの消費者に受け入れられるパッケージに変更し、植物工場産野菜のブランド化を目指します。

私たちは、高品質な野菜を提供する次世代アグリビジネスの普及に努め、三菱ケミカルホールディングスグループが提唱するKAITEKI^{※3}社会の実現を目指してまいります。

- ※1 密閉空間で温度管理、光照射・灌水等を自動管理し、丈夫で均質な苗を短期間で育てるための設備
- ※2 水に養分を溶かした養液を循環させて、葉菜類を栽培するシステム
- ※3 人にとっての心地よさに加え、社会にとっての快適、地球にとっての快適を併せもったもので、真の持続可能な状態

【写真】



竣工式



太陽光利用型植物工場外観



葉菜類養液栽培システム
「ナッパーランド®」



新パッケージ

本件に関するお問合せ先
(株)三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室
電話:03-6748-7140